

NO 11	東京電機大学 東京千住キャンパス建設を 端緒とする省CO ₂ エコキャンパス推進計画		学校法人 東京電機大学	
提案概要	千代田区神田を拠点とするキャンパスの教育機能移転プロジェクト。開かれた大学として、地域に開かれた3つの広場と、大きく4棟の建物から構成され、北千住駅前至近の都市型キャンパスとして省CO ₂ 推進を図ると共に、将来の環境・情報技術者を育てる理工系大学および地域・社会のコミュニティの場として、見える化を通じ省CO ₂ ・環境配慮の情報発信・啓発の拠点とする。災害時には、省CO ₂ 設備を防災拠点の設備として活用する計画である。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅)
	建物名称	東京電機大学 東京千住キャンパス	所在地	東京都足立区
	用途	学校/集会所/事務所	延床面積	72,600 m ²
	設計者	株式会社榎総合計画事務所 株式会社日建設計	施工者	住友商事株式会社 株式会社大林組、鹿島建設株式会社
	事業期間	平成21年度～平成23年度		

概評

大学キャンパスに様々な先進的省CO₂技術を網羅的に導入した意欲的なプロジェクトである。特に、換気量の多さを利用したエアフローウィンドウ、連結縦型蓄熱槽と高効率熱源システム、土曜・休日における蓄熱単独運転など、ハード面ではその新規性が顕著である。併せて、大学特有の室使用状況や在室人員の不規則性に配慮し、例えば、教室内に温度ムラを作りだし、省エネに寄与する人間行動を誘発することを意図した空調制御などソフト面での工夫も興味深い。更に、学生・管理者・地域などへの見える化による省CO₂の啓発や教育プログラムとの連携などの工夫もみられる。多くの斬新な試みが管理運営面で計画どおりの実効性が確保されるかの課題はあるが、社会実験としての側面もあり、ここで得られる諸データの公表を要望したい。

